

「防災訓練2012」を開催しました！

我が町新田

平成 24 年 10 月 22 日

号 外

発行 新田町会



開会式の様子。多くの方がご参加いただき防災意識の高まりが感じられます。今年も葛西第三中学校のご協力をいただき広々とした校庭で十分な訓練スペースを確保できました。

快晴の10月21日(日)葛西第三中学校庭にて「新田町会防災訓練2012」が江戸川区・葛西消防署・葛西警察署・葛西第七消防団・葛西第三中学校などのご協力により開催されました。

昨年に引き続き葛西三中のご好意により葛西三中校庭にて訓練が行われました。町会会員に加え葛西三中の生徒有志も訓練に加わり、約二百名の参加者が訓練に熱心に取り組みました。

開会にあたり白子達男新田町会会長より「東日本大震災から約一年半がたちましたが、教訓を忘れることなく真剣に訓練に取り組んでいただきたい。」とのあいさつがありました。

また訓練に先立ち「葛西消防団第七分団(新田消防団)の団員による「放水実技」の披露もあり、きびきびとした行動に賞賛の声があがりました。

訓練の内容は「初期消火訓練」「起震車体験」「煙避難訓練」「AED(救急動装置)操作訓練」「通報訓練」などのコーナーに分かれて行いました。

また昨年に続き町会女性部による「炊き出し訓練」も実施されました。お米半合と梅干を特殊なビニール袋に入れ直接一斗缶で煮て、そのまま配ることができました。食器を必要としないので災害時に有効な非常食となります。

各コーナー、葛西消防署員ならびに葛西第七分団員(消防団)の皆さんが熱心に指導してくださいました。訓練を終了された方には「防災グッズ」(非常食用ビスケットなど ※写真参照)が配られました。

災害には普段からの心がけが大切です。次回訓練にもぜひご参加をお願いします。



※参加者に配布された防災グッズ(固形燃料、細引きロープ、レスキューシート、非常用ビスケットなど)



消防団による放水実技。正確で迅速な実技に賞賛の声があがりました。



大地震の揺れを体験します。地震の際には落ち着いて行動することがなにより大切です。



毛布と物干し竿で応急担架をつくりけが人を搬送する訓練。葛西三中の生徒たちが熱心に取り組みました。



AED（叙細動装置）の体験コーナー。心停止からの蘇生に有効な装置です。葛西三中の皆さんも真剣に操作方法を学んでいました。



煙避難訓練。建物火災では煙で方向性を失ってしまいます。煙をできるだけ吸わないよう姿勢を低くして手探りで避難路を見つけ出します。

会場に参加者にインタビューしました。

- * 消火訓練は初めての体験でしたが、いざというときに何とか対処できそうです。（30代男性・親子で参加）
- * AEDは二回目、前回は見ていただけでしたが、今年は実際に操作してみました。機械が自動的にタイミングを判断してくれるので説明通りにすれば大丈夫と感じました。（中葛西7丁目女性）
- * 心臓マッサージは押す速さが分からない。しかし実際に倒れている人がいればAEDを使ってみようと思う。（60代女性）
- * 担架に人を乗せるのにこんなに重いとは思わなかった。家具の下敷きになった人を助けるのに、家にあるものでできるんだなと思った。いろんなものでかんだんにできそうです。（3中男子）
- * 震度7を体験し、思わずへたっと座り込んでしまった。物が落ちてきたらどうしようかと考えさせられた。（女性4名組で参加）
- * 煙の中、障害物をさけながら避難することむつかしさを知りました。実際の火災では歩けるかなと思いました。（50代男性）



通報訓練。あわてず正確に情報を伝えることが大切です。

町会女性部の皆さん方、炊き出しご苦労さまでした。本番の時も大きな力となるでしょう。

